

各地区業況アンケート結果（28年6月調査分）

（28年6月24日）

全国鉄鋼販売業連合会

6月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ59名の回答があり（回答率39.1%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 前年割れ企業、約5割

問1】貴社の5月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	
売上数量/前年同月比	7	5	19	13	15	59	
比率	12%	9%	32%	22%	25%	DI-41	
売上金額/前年同月比	8	6	14	12	19	59	
比率	14%	10%	24%	20%	32%	DI-47	

2. 公共建設向減少目立つ

問2】貴社の営業窓口から見て6月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI
公共建設向		8	21	6	9	44	-36
民間建設向	1	15	19	14	2	51	-2
自動車向		5	15	5	2	27	-15
その他需要家向	2	9	27	13	3	54	-11
仲間取引	1	7	23	13	4	48	-25
計	4	44	105	51	20	224	-17
比率	2%	19%	47%	23%	9%		

3. 赤字企業が3割強に増

問3】貴社の5月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	
企業収益状況	9	12	19	17	2	59	
比率	15%	20%	32%	29%	4%	DI+15	

4. 期待感を込めて若干増を予測

問4】貴社における向う7月から9月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	
短期需要動向予測	4	28	23	4		59	
比率	7%	47%	39%	7%		DI +54	

5. 需要なく在庫調整進まず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	品種別	A	B	C	D	E		6月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-31	-39	-42	-42	-38	-48	-46	-36	-39	-48	-32	-13	鉄筋用丸鋼	1	1	14	8	1	25	-28
-15	-14	-27	-20	-23	-23	-28	-21	-30	-21	-30	-21	構造用丸鋼			20	6		26	-23
-17	-22	-13	-22	-10	-14	-30	-12	-15	-22	-23	-11	平角鋼			23	6		29	-21
-18	-25	-27	-23	-27	-25	-17	-10	-22	-10	-34	-7	H形鋼		2	17	6		25	-16
-30	-14	-27	-32	-23	-24	-33	-26	-47	-50	-57	-26	コラム			13	8		21	-38
-17	-26	-23	-19	-16	-30	-28	-13	-17	-19	-28	-12	小形山形鋼			26	6		32	-19
-17	-23	-26	-23	-19	-24	-28	-19	-17	-21	-30	-15	中形山形鋼		1	23	8		32	-22
-20	-16	-29	-30	-23	-24	-25	-27	-21	-18	-30	-21	溝形鋼			23	7	1	31	-29
-34	-33	-23	-34	-28	-28	-27	-25	-25	-37	-46	-64	軽量形鋼C形			17	7	1	25	-36
-22	-27	-18	-25	-40	-32	-57	-29	-44	-44	-32	-32	軽量形鋼広巾			14	7		21	-33
-41	-48	-56	-45	-57	-62	-40	-52	-58	-52	-62	-41	冷延薄板			11	10	1	22	-55
-31	-52	-62	-42	-55	-61	-33	-33	-59	-41	-36	-35	熱延薄板		1	14	9	1	25	-40
-35	-56	-67	-52	-48	-59	-32	-44	-62	-53	-62	-46	表面処理鋼板			13	10	1	24	-50
-55	-56	-67	-56	-62	-56	-42	-57	-69	-61	-63	-45	酸洗鋼板			15	8	2	25	-48
-33	-56	-45	-49	-49	-58	-44	-38	-63	-54	-47	-32	中板		1	22	9	1	33	-30
-34	-39	-39	-46	-44	-38	-30	-29	-57	-44	-44	-27	厚板		2	23	7		32	-16
-20	-11	-10	-17	-17	-14	-22	-18	-25	-31	-15	-11	極厚板		2	13	4		19	-11
-18	-15	-23	-23	-25	-23	-35	-30	-22	-29	-25	-30	縞板		2	20	5		27	-11
-29	-22	-37	-29	-34	-36	-34	-33	-32	-38	-41	-32	中径角			24	7	1	32	-28
-18	-19	-19	-25	-25	-21	-32	-14	-19	-29	-33	-25	ガス管黒			23	4	3	30	-33
-16	-23	-25	-20	-19	-20	-31	-20	-24	-26	-31	-27	構造用鋼管			25	3	2	30	-23
-26	-31	-34	-33	-33	-35	-33	-27	-38	-35	-38	-28	計	1	12	393	145	15	566	-28

6. メーカー値上げ、スクラップ急落、荷動き低調で様子見状態

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	建築はヒモ付き案件が多い。倉からの出荷は低調。土木案件は昨年同様に少ない。特に鋼管の荷動きが少ない。土木事業がこれだけ少ないと事業者への信用不安が問題になってくる。ファブ仕事は年内満杯である。製缶業の仕事量は足元少ない。
	B	丸棒のメーカー在庫は非常にタイトである。価格の急上昇もさることながらデリバリーが厳しい。しばらくは2メーカーともにタイト感が続く模様で市況維持に通ずると思われる。
東北	A	新規の引合い、成約は低調。値上り前の受注分、契約残で食い繋ぐ日々が暫く続く。
	B	期待だけが先行しているような気がする。
	C	一次加工の数量が前年比40%ダウン。売上数量は増加したが、価格下落と一次加工の減少により、売上金額と粗利益が減少した。
	D	昨年、秋頃より景気の減速感が進み、今年度も先行き不透明である。公共工事も大型化しており、最初から商社が絡む案件が多く、なかなか地元へ仕事が落ちてこない。また、ゼネコン及び加工先の利益は確保されているが、流通の利益が生み出せない環境である。
新潟	A	6月に入り、形鋼が少し動き出した感がある。
	B	6月以降の需要動向予測は期待をこめて増と回答した。しかし、依然と活気に欠けている。鋼板関係の単価が停滞している。形鋼は若干上げていく方針である。
	C	メーカーの値上げから販価格の下落が止まり、いよいよ値上げかと思っていた。しかしスクラップがまた下がり、荷動きも悪すぎるので底上げムードも勢いを欠けている。
	D	5月は意外にも良かった。6月に入り荷動きが悪くなった。
	E	市況は改善傾向にあるが、需要は相変わらず少ない。オリンピック関連の秋需が出るまで我慢が続きそうである。
川口		本年度に入り、公共、民間向けとも落ち込みが激しく先行きの見通しも明るさも見えない。そのため需要家も当用買いに徹し、注文も細くなっている。出庫は輸送経費がかかり利益が圧迫している。特に悪いのが建設関係で物件が極端に少ない。公共向けは例通りだが、予算執行の狭間で今後より徐々に上向くと思われる。民間向けは極端な落ち込みはないものの先の見通しもあまり期待できない。以上のように全体的に悪いが信用問題の発生は少ない。
東京	A	今後、メーカーの値上げが実施されるが、ヒモ付きユーザーに対しての転嫁が出来るか不安である。
	B	メーカー値上げを受け、価格転嫁に動いていたが、需要、引合いの低迷、スクラップ価格の急落により、需要家は様子見状態になってしまった。
	C	薄板需給はアンバランスな状態が続いている。最安値とされている第1四半期契約の輸入材が未だに入りきっていない。国内需要は風前の灯火で在庫調整の遅れは否めない。メーカー値上げと市場のギャップはそう簡単には埋まらないだろうが、メーカーを信じ地道に商売するしかない。
	D	(鋼管)6月も低調なまま推移。一部の杭関係以外、動きはない。

東京	E	4月に続き5月も売上低調。業種に関係なく、動きが悪い。与信に注意していきたい。
静岡	A	ソーラー架台案件があったが、最終的に部材が当初と全く違う設計に変更された。理由は納期と予算である。メーカーはオファーを取り、加工先の納期を押しえバタついているだけである。メディアでは破綻が続くソーラー売電業者の報告がクロウズアップされている。先々、どうなるのか。鉄骨ファブも大手以外はよく言えば一服、悪く言えば安値受注である。大概、7月の参議院選挙、都知事選など梅雨明けまで「どうなっているの？」状態である。大口受注があったが、価格は厳しい限りである。信用情報誌の破綻の文字が建設、土木関連で増えていないか。
	B	ほとんどの産業で景況感の悪化が続いている。特に自動車関連の落ち込みが激しい。今までになかった業種の倒産が始まっている。スクラップをはじめ、原材料価格の雲行きが怪しく、買い控え、着工延期が懸念される。更に値上げ転嫁のタイミングが悪くなっている。同じ業種でも仕事量のバラツキが見られ、与信から目が離せない。
	C	相変わらず低位横ばいが続いている。夏以降に期待。
石川	A	大型産機は悪い状態が続いている。工作機械業界は徐々に落ちている。バス、トラックは多忙が継続。外注も多忙である。建築物件は中小規模の物は落ちていないが、間接費との比率が悪化している。大型物件は年の後半から期待できる。土木の技能者不足は役所、コンサルタント、設計事務所とも不足し、工期遅れになりつつある。現状、無理な受注はできない。
愛知	A	非常に低調。どの業種をとっても良い材料が見当たらない。
	B	自動車関係の不祥事、また震災、事故の影響から、この地区は盛り上りに欠け低迷している。サミットが無事終了し、新展開を期待しているが、なかなか光が見えてこない。価格もメーカーが声高に唱えているが、ついてくる力が弱い。まだ膠着状態が続くのか。
	C	集購分については大幅に減、今後の人員、設備など検討を要す。プロパーの需要はまずまずだが、大手専業の安売りは大きな問題である。営業マンにただ売ってこいの指示はやめてほしい。他地区からの安値玉、アウトメーカーの安売りなど乱戦である。今後、新しい考えで業務をしていく。
	D	自動車はライン停止の影響から挽回生産に努めており、土曜出勤が続いているようである。円高の進展が気になるが、当面は高水準の生産が続く。名古屋市中心部や名古屋駅周辺の再開発およびリニア関連工事が継続しており、需要は害して安定している反面、収益性が気になるところである。
大阪	A	消費税増税前の駆け込み需要を狙った宅地増税などが盛んに行われているが、増税の延期となった事で肩透かしを食らった形となっており、今後、先行きの反動、与信問題などが懸念される。
	B	遅れていた建築需要も少しずつ出てきているが、全面的な荷動きはパツとしない。
岐阜		全体的に形鋼、鋼管、鋼板と一律、荷動きが悪い。スクラップの低下も著しく、価格面で厳しい状況が続いている。予定物件の間延びの見当違いも影響している。

広島	<p>これまで堅調に推移していた造船関係も陰りが見え始め、今秋から来春までをピークに下降する予測が出ている。関東向け物件を受注している建築は底堅いようだが、地元中小案件が乏しいため商い自体が低調となっている。自動車、建機、産機も秋需を期待させるような具体的な案件も聞こえてこない。当面、厳しい需要環境が続くと予想される。</p>
岡山	<p>昨年までの物流倉庫を含む建築需要は一服状態。春からの資源の高騰、暴落に翻弄され、需要の端境期もあいまって閉塞感が漂っている。また、三菱自動車の燃料データ不正問題から水島製作所の休止や下請け業者への発注ストップと自動車関連は非常に厳しい状態である。今のところ、倒産の話は聞いていないが、地域経済のためにも早期解決を期待する。商売は秋以降に出てくると言われている需要に期待して、それまでの採算重視で我慢していく。</p>
福岡	<p>全体的な動きは鈍いように感じる。特に半導体関係の落ち込みが大きい。5月は見積り引合いも少なく、6月、7月の動きも予測できない状況である。大きな倒産情報は聞こえてこないが、1件1件をしっかり管理していきたい。</p>
北九州	<p>5月が非常に悪かったため、多少持ち直したように感じるが、引合いは少なく閑散としている。先物契約は敬遠され、補充は必要量を一番安い店から買えば良いとの姿勢が鮮明なため、競合は激化し、相場は下押し気味である。値上げ玉入荷のため、採算は悪い。また、品種により新規参入メーカーもあり、需給バランスは崩れたままである。</p>